

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（全体）

事業所名	ナーチャーハーツ
住所	大阪府茨木市西駅前町14番19号
電話番号	072-627-3373

事業所番号	2714201817
管理者名	小嶋 タ子
対象年度	令和7年度

(I) 労働時間		40 点
①1日の平均労働時間が7時間以上		
②1日の平均労働時間が6時間以上7時間未満		
③1日の平均労働時間が5時間以上6時間未満		
④1日の平均労働時間が4時間30分以上5時間未満		
⑤1日の平均労働時間が4時間以上4時間30分未満	○	
⑥1日の平均労働時間が3時間以上4時間未満		
⑦1日の平均労働時間が2時間以上3時間未満		
⑧1日の平均労働時間が2時間未満		
①90点 ②80点 ③65点 ④55点 ⑤40点 ⑥30点 ⑦20点 ⑧5点		

(II) 生産活動		50 点
①過去3年の生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
②過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がそれぞれ当該各年度に利用者に支払う賞金の総額以上	○	
③過去3年の生産活動収支のうち前年度における生産活動収支のみが前年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
④過去3年の生産活動収支のうち前々年度における生産活動収支のみが前々年度に利用者に支払う賞金の総額以上		
⑤過去3年の生産活動収支のうち前年度及び前々年度の各年度における生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
⑥過去3年の生産活動収支がいずれも当該各年度に利用者に支払う賞金の総額未満		
①60点 ②50点 ③40点 ④20点 ⑤-10点 ⑥-20点		

(III) 多様な働き方（※）		15 点
①免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度		
就業規則等で定めている		
②利用者を職員として登用する制度		
就業規則等で定めている	○	
③在宅勤務に係る労働条件及び服務規律		
就業規則等で定めている	○	
④フレックスタイム制に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑤短時間勤務に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑥時差出勤制度に係る労働条件		
就業規則等で定めている	○	
⑦有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度		
就業規則等で定めている	○	
⑧傷病休暇等の取得に関する事項		
就業規則等で定めている	○	
小計（注1）		7
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注1）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(IV) 支援力向上（※）		15 点
①研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会		
参加した職員が1人以上参加している	○	
②研修、学会等又は学会誌等において発表		
1回以上の場合		
③視察・実習の実施又は受け入れ		
いずれか一方のみの取組を行っている	○	
④販路拡大の商談会等への参加		
1回以上の場合		
⑤職員の人事評価制度		
人事評価結果に基づき定期的に昇給を判定する制度を設け、全ての職員に周知している	○	
⑥ピアサポーターの配置		
ピアサポーターを職員として配置している	○	
⑦第三者評価		
過去3年以内の福祉サービス第三者評価を受審しており、結果を公表している。	○	
⑧国際標準化規格が定めた規格等の認証等		
都道府県知事が適当と認める国際標準化規格が定めた規格その他これに準ずるものの認証を受けている		
小計（注2）		5
（※）8項目の合計点に応じた点数 （注2）5以上：15点、4～3：5点、2点以下：0点		

(V) 地域連携活動		10 点
地域の事業者と連携した付加価値の高い商品開発、企業や官公庁等での生産活動等地域社会と連携した活動を行い、その結果をインターネット等により公表している	○	
1事例以上ある場合：10点		

(VI) 経営改善計画		0 点
経営改善計画の提出を求められていない。または、経営改善計画の提出を求められているが、指定された期日までに提出している。	○	
期限内に提出していない場合：-50点		

(VII) 利用者の知識・能力向上		10 点
前年度において、就労継続支援A型事業所等が利用者の知識及び能力の向上に向けた支援を行い、当該支援の具体的な内容を記載した報告書を作成し、インターネットの利用その他の方法により公表している。	○	
1事例以上ある場合：10点		

項目	点数
労働時間	5点 20点 30点 40点 55点 65点 80点 90点
生産活動	-20点 -10点 20点 40点 50点 60点
多様な働き方	0点 5点 15点
支援力向上	0点 5点 15点
地域連携活動	0点 10点
経営改善計画	0点 -50点
利用者の知識・能力向上	0点 10点

合計	140 点 / 200点
----	-----------------

就労継続支援A型事業所におけるスコア表（実績Ⅰ～Ⅳ、Ⅵ）

(Ⅰ) 労働時間

前年度（R7年度）

雇用契約を締結していた全ての利用者における延べ労働時間	36,522	時間	雇用契約を締結していた延べ利用者数	9,046	人	利用者の1日の平均労働時間数	4	時間
-----------------------------	--------	----	-------------------	-------	---	----------------	---	----

(Ⅱ) 生産活動

会計期間（4月～3月）

前々々年度（R5年度）

生産活動収入から経費を除いた額	18,206,796	円	利用者に支払った資金総額	38,363,411	円	収支	▲ 20,156,615	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	--------------	---

前々年度（R6年度）

生産活動収入から経費を除いた額	36,817,204	円	利用者に支払った資金総額	36,419,773	円	収支	397,431	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	---------	---

前年度（R7年度）

生産活動収入から経費を除いた額	45,238,263	円	利用者に支払った資金総額	44,144,555	円	収支	1,093,708	円
-----------------	------------	---	--------------	------------	---	----	-----------	---

(Ⅲ) 多様な働き方

前年度（R6年度）における取組（全体表「(Ⅲ) 多様な働き方」の各項目において「就業規則等で定めている」と選択した場合に記載）

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度

① 免許・資格取得、検定の受検勧奨に関する制度を定めている	<input type="checkbox"/>
-------------------------------	--------------------------

② 利用者を職員として登用する制度

② 利用者を職員として登用する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------	-------------------------------------

③ 在宅勤務に係る労働条件及び服務規律

在宅勤務に係る労働条件及び服務規律に関する制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-------------------------------	-------------------------------------

④ フレックスタイム制に係る労働条件

④ フレックスタイム制に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------	-------------------------------------

⑤ 短時間勤務に係る労働条件

⑤ 短時間勤務に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
----------------------	-------------------------------------

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件

⑥ 時差出勤制度に係る労働条件を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
-----------------------	-------------------------------------

⑦ 有給休暇の時間単位取得又は計画的付与制度

⑦ 有給休暇の時間単位取得または、計画的付与制度を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
--------------------------------	-------------------------------------

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項

⑧ 傷病休暇等の取得に関する事項を定めている	<input checked="" type="checkbox"/>
------------------------	-------------------------------------

(Ⅳ) 支援力向上

前年度（R6年度）における取組（全体表「(Ⅳ) 支援力向上」の各項目に取組あり選択とした場合に記載）

① 研修計画に基づいた外部研修会又は内部研修会

① 研修計画を策定している	<input checked="" type="checkbox"/>
② 外部研修、もしくは内部研修を1回以上実施している。	<input checked="" type="checkbox"/>
※研修名 就労支援員養成研修支援力向上コース他	
研修講師 大阪府自立支援課 他	
実施日・受講者数 10月20日 6人	

② 研修、学会等又は学会誌等において発表

② 研修、学会等又は学会誌等において1回以上発表している	<input type="checkbox"/>
※研修、学会等名	
実施日 月 日	
※学会誌等名	
掲載日 月 日	
発表テーマ	

③ 視察・実習の実施又は受け入れ

③ 先進的事業者の視察・実習の実施している	<input checked="" type="checkbox"/>
もしくは、他の事業所の視察・実習を受け入れている	<input checked="" type="checkbox"/>
※先進的事業者名 株式会社ダイキンサンライズ	
実施日/参加者数 令和7年8月7日 13人	
※他の事業所名 社会福祉法人楽福社会楽	
実施日/参加者数 令和8年2月12日 5人	

④ 販路拡大の商談会等への参加

④ 販路拡大の商談会や展示会等へ1回以上参加している	<input type="checkbox"/>
※商談会等名	
主催者名	
日時 月 日	
内容	

⑤ 職員の人事評価制度

⑤ 職員の人事評価制度を整備している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑥ 当該人事評価制度を周知している	<input checked="" type="checkbox"/>
人事評価制度の制定日 30年11月1日	
人事評価制度の対象職員数 12名	
うち昇給・昇格を行った者 12名	
当該人事評価制度の周知方法 就業規則(人事考課規程)の閲覧	

⑥ ピアサポーターの配置

⑥ ピアサポーターを配置している	<input checked="" type="checkbox"/>
⑦ 当該ピアサポーターは「障害者ピアサポーター研修」を受講している	<input checked="" type="checkbox"/>
※配置期間 令和7年4月1日-令和8年3月31日	
就業時間 9:00-17:00	
職務内容 管理者、職業指導員 2名	

⑦ 第三者評価

⑦ 前年度末日から過去3年以内に福祉サービス第三者評価を受けている	<input checked="" type="checkbox"/>
※評価を受けた日 令和6年12月20日	
第三者評価機関 一般社団法人 ば・まる	

⑧ 国際標準化規格が定めた規格等の認証等

⑧ ISOが制定したマネジメント規格等の認証等を受けている	<input type="checkbox"/>
※認証を受けた日 月 日	
規格等の内容	

(Ⅵ) 経営改善計画


⑨ 指定権者である都道府県（指定都市・中核市）へ、経営改善計画書へ提出した。	<input type="checkbox"/>
※受理日 年 月 日	

各項目について適宜、実績がわかる情報を追加すること。

就労継続支援 A 型事業所における地域連携活動実施状況報告書

事業所名	ナーチャーハーツ	事業所番号	2714201817
住 所	大阪府茨木市西駅前町14番19号	管理者名	小嶋 夕子
電話番号	072-627-3373	対象年度	令和 7 年度

地域連携活動の概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：ナーチャーハーツ各事業所</p> <p>実施日程：年間を通して 利用者数：全利用者、全職員</p> <p>実施した活動の概要：</p> <p>地域連携活動の一環としてペットボトルキャップの回収活動を行っている。事業所内で利用者と職員が協力してキャップを回収し、日本生命保険相互会社 茨木支社 茨木営業部が行っている回収活動へ提供している。地域企業と連携した取り組みとして継続して実施している。</p>	<p><活動の様子></p> <p>成果物の写真</p>  <p>活動内容の追加コメント</p> <p>集めたキャップはNPO法人「キャップの貯金箱推進ネットワーク」を通じてリサイクルされ、その売却益が「世界の子どもにワクチンを 日本委員会 (JCV)」へ寄付されます。この活動は、開発途上国の子どもたちへのワクチン支援につながるのと同時に、CO₂排出削減など環境を守る取り組みにもつながっています。</p>
<p><目的></p> <p>地域連携活動のねらい</p> <p>地域企業が取り組む社会貢献活動へ参加することで、地域企業との連携を深めるとともに、地域とのつながりを感じる機会をつくり、環境保全や社会貢献への意識を高めることを目的としている</p> <p>地域にとってのメリット</p> <p>地域企業と福祉事業所が連携して社会貢献活動を行うことで、地域全体で環境保全や国際支援活動への理解が広がる。</p> <p>対象者にとってのメリット</p> <p>地域企業の活動に参加することで、地域とのつながりを感じる機会になる。また、環境を守ることや社会貢献について考えるきっかけにもなっている。</p>	
<p><成果></p> <p>実施した結果</p> <p>利用者と職員が協力してペットボトルキャップを回収し、日本生命保険相互会社 茨木支社 茨木営業部の回収活動へ提供することができた。</p> <p>得られた成果</p> <p>回収活動を通じて、地域企業の社会貢献活動に参加する機会となった。また、環境保全や社会貢献について考えるきっかけにもなった。</p> <p>課題点</p> <p>活動の目的や意義について利用者へより分かりやすく伝え、継続的な取り組みとして定着させていくことが今後の課題である。</p>	

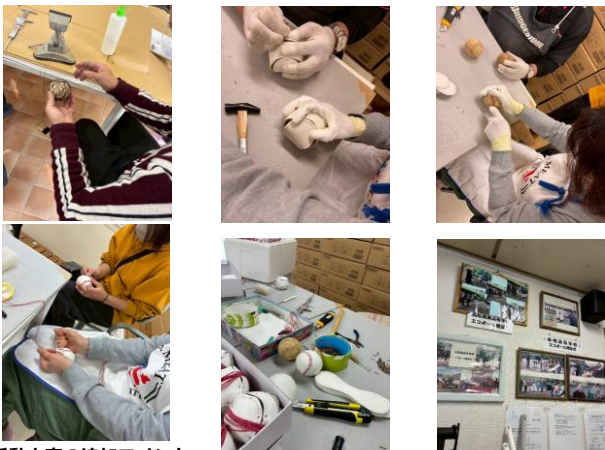
連携先の企業等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価①</p>			
<p>ペットボトルキャップ回収の取り組みにご協力いただき、ありがとうございます。継続して回収活動に参加していただくことで、社会貢献活動の輪が広がっていると感じています。今後も一緒に取り組んでいければと思います。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <p>せっかくのご縁ですので、今後も回収活動を続けていければと考えています。また、回収したキャップがどのようにワクチン支援につながっているのかについても共有しながら、活動の意味を感じられる取り組みにしていければと思います。</p>			
<p>連携先企業名</p>	<p>日本生命保険相互会社 茨木支社茨木営業部</p>	<p>担当者名</p>	<p>宮田かおる</p>

就労継続支援 A 型事業所における利用者の知識・能力向上に係る実施状況報告書

事業所名	ナーチャーハーツ	事業所番号	2714201817
住所	大阪府茨木市西駅前町14番19号	管理者名	小嶋 夕子
電話番号	072-627-3373	対象年度	令和6年度

利用者の知識・能力向上に係る実施概要

<p><活動内容></p> <p>活動場所：社会福祉法人楽笑福祉会楽笑</p> <p>実施日程：令和8年2月12日 見学・研修</p> <p>研修日程：令和8年2月12日</p> <p>概要：外部事業所における社内見学および実地研修に参加し、実際の作業工程や環境を体験したうえで、新たな作業技術の習得を目的とした実践的な研修を実施した。</p> <p>利用者数：研修3名、職員4名</p>	<p><活動の様子></p>  <p>活動内容の追加コメント</p> <p>◎見学： 事業所内には、エコボールの贈呈式の写真や活動実績が掲示されており、地域や学校と連携しながらエコボールの普及活動に力を入れている様子がうかがえた。 実際の取り組み事例を見ることで、作業が社会とつながっていることを実感でき、利用者の意欲向上につながった。</p> <p>◎研修： 研修では、ボールの構造や工程の説明から実際の縫製・仕上げ作業まで、段階を追って丁寧に指導していただいた。 実演を交えながらわかりやすく説明していただいたことで、利用者も安心して作業に取り組むことができ、集中して技術習得に励む姿が見られた。</p>
<p><目的></p> <p>利用者の知識・能力向上に係る実施のねらい</p> <p>利用者が一般就労に必要な基礎的知識および作業能力を身に付けるとともに、実際の職場環境を体験することで就労イメージを具体化し、安定した就労へとつなげることを目的とする。</p> <p>利用者にとってのメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> 新しい知識や技術を習得するとともに、実際の作業現場を体験することで就労への意欲向上につながる。 成功体験を通じて自己肯定感が高まり、自信を持って就労に取り組む力の向上につながる。 	
<p><成果></p> <p>実施した結果</p> <p>利用者は意欲的に研修へ参加し、普段とは異なる環境の中でも集中して作業に取り組むことができた。「時間があっという間に過ぎた」との感想もあり、前向きに取り組める機会となった。</p> <p>得られた成果</p> <ul style="list-style-type: none"> 新たな作業技術を習得するとともに、作業効率や正確性への意識が向上した。 一般就労を見据えた具体的な目標意識の醸成につながった。 研修で学んだ作業工程や技術を、今後の事業所内作業にも活かしていくことが期待される。 <p>課題点</p> <p>1日の研修のみでは、技術を十分に習得するための時間が不足していることが課題である。また、参加できなかった利用者への技術共有方法についても工夫が必要である。</p>	

連携先の企業や事業所等の意見または評価

<p>連携した結果に対する意見または評価</p> <p>研修受入先より、「利用者の皆さんは真剣に取り組まれており、説明内容をよく理解しながら作業に参加されていた」との評価をいただいた。また、「作業姿勢も丁寧で、今後も継続的な連携が可能であれば協力したい」との前向きな意見があった。</p> <p>さらに、「困りごとや技術面での相談があれば、いつでも連絡してほしい」とのお言葉をいただき、今後の支援体制強化につながる関係性を構築することができた。</p> <p>今後の連携強化に向けた課題</p> <ul style="list-style-type: none"> 習得した技術を事業所内で共有・定着させる仕組みを整え、参加できなかった利用者への波及効果を高めることが課題である。 企業側と定期的な情報交換の場を設け、利用者の成長状況や課題を共有しながら、より実践的な就労支援へ発展させていく必要がある。 	<p>連携先企業（担当者）</p> <p>社会福祉法人楽笑福祉会楽笑 木下様</p>
--	--

利用者からの意見・評価

<p>参加した利用者からの意見・評価</p> <ul style="list-style-type: none"> 作業がとても楽しく、もっと続けたいと感じた。 しっかり身に付けるためには、1週間ほど通って自分のものにしてから他の利用者にも伝えたいと思った。 今回の研修に参加できて本当に良かった。 最初は不安もあったが、丁寧に教えてもらい安心して取り組むことができた。 できることが増えたと感じ、自信につながった。 参加できなかった人にも伝えたいと思った。
--